

令和6年度 課の運営方針書

消防本部 中央消防署

1 課の運営方針

【課の使命】

車両、資機材、人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災や地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者を医療機関へ適切に搬送することにより、市民の安心・安全を守ります。

【課の目標】

- ① 警防技術の充実強化
複雑多様化する各種災害に対応するべく各級指揮者の能力の向上をはじめ、高度な消火や救助の知識・技術を習得するとともに、若手職員への知識・技術の伝承に努めます。
- ② 救急業務の質の維持・向上
指導救命士を中心に救急隊員の生涯教育、救急救命士のスキルアップを図るべく教育・指導を行うとともに、医師の評価に基づいた救急業務の質の維持・向上に努めます。
- ③ 予防体制の充実
防火対象物の実態を把握するとともに、年間査察計画によって危険度の高い対象物から立入検査を実施し、火災の未然防止に努めます。
- ④ 各種事故防止及び職員教育の推進
各種事故防止対策を徹底することにより適正かつ円滑な業務を遂行するとともに、各種教育を推進し消防職員としての資質の向上を図ります。
- ⑤ 消防団との連携強化
地域防災の要である消防団との連携を強化し、災害による被害の軽減に努めます。

【行財政改革への取組み】

働きやすい職場環境の整備や署内における業務の相互補完を行うことでWLBを推進し、休暇の取得・時間外勤務の低減を目指します。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(警防1担当・警防2担当)

- 消防力の三要素(人員・施設・水利)を最大限に活用し、いかなる災害にも即応する体制を確保します。
- 防火対象物の立入検査や防火指導などを定期的実施し、火災の未然防止や火災による被害の軽減に努めます。
- 救急業務の質の向上を図り、傷病程度に応じた適切な医療機関への搬送を行います。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	32人	うち	正職員	32人	・	会計年度 任用職員	0人	人件費	正職員	230,592千円	会計年度 任用職員	千円
-----	-----	----	-----	-----	---	--------------	----	-----	-----	-----------	--------------	----

※R4職員平均給与(7,206千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	0千円	歳出予算額	0千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	0事業
-------	-----	-------	-----	-------------	---------	-----

4 課の中期目標（優先順） 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	4 安心安全 2 消防・救急体制の充実 1 消防力の充実	○複雑多様化する災害に即応するべく実戦的な訓練を実施し、指揮能力の向上及び隊員の知識・技術の評価による署員全体のレベルアップに努めます。
2	4 安心安全 2 消防・救急体制の充実 2 救急救助業務の充実	○指導救命士を中心とした救急隊員の生涯教育、救急救命士の特定行為等の事後検証を実施し、救急医療の質の向上を図ります。 ○機動救助分隊を中心に特殊車両及び資機材の取扱いについて習熟し、特殊災害に対応できる優れた人材を育成します。
3	4 安心安全 2 消防・救急体制の充実 3 予防体制の強化	○防火対象物法令違反の是正に取り組みます。 ○住宅用火災警報器の設置及び取替えについて、普及啓発を行います。